

平成27年4月26日
執 行

函館市長選挙公報

函 館 市
選挙管理委員会



工藤としき

改革と挑戦!!

第2ステージへ

函館新時代への歩みを 確実なものに!

新しい時代への幕が開きます。

函館再生への 「改革と挑戦」は続きます。

函館再生への「改革と挑戦」第2ステージは

「交流人口の拡大」と

「少子化対策」が大きなテーマです。

函館のまちづくりに 積極果敢に取り組みます。

I 函館の経済を

元気にします。

II 子どもたちと若者の

未来を拓きます。

III 市民の安全・安心を

守ります。

IV まちの魅力を

さらに高めます。

V 行財政改革と

広域連携の 強化に努めます。

工藤としきプロフィール

昭和 24 年 11月26日 乙部町に生まれる
町立福島小学校
市立の場中学校
函館ラ・サール高等学校を経て
昭和 48 年 早稲田大学法学部卒業

昭和 48 年 亀田市採用(現函館市)
平成 7 年 秘書課長
平成 10 年 財務部次長
平成 11 年 財務部長
平成 15 年 企画部長
平成 18 年 助役・副市長
平成 23 年 市長就任

ふるさと函館にUターン

函館に帰省し友人に会うたびに、いつも寂しい思いがつのっていました。来年には新幹線がくるというのに、人口の減少は急速で、まちは衰退の一途を辿っていることに。

現職の市長は、「4年間で函館を変えます」と約束しましたが、結果、やったことは、大間原発の訴訟とバブル時代のような大型ハコモノ事業だけ…。**縮小する都市の市民が、将来の運営・維持費の負担に耐えきれないのでしょ**うか。運営・維持費は、補助金のように国が面倒を見てくれるわけでは
ありません。函館市の自主財源から拠出しなければならないのです。

そういう観点からすると、そこまで大型の施設をつくって何をしたいのか、運営・維持費はどのように手当てするのか、函館の大事な将来をどうする
のか何の説明もありません。その一方で、**市民生活に直結する、大事な福祉・教育・文化そして市民活動の予算が大幅に削減されています**。

このような状態が「問題視されることもなく、無風選挙になるなどという
ことは避けてほしい、心ある者が「待った!」をかけてほしいとの声が強く私に
対して寄せられました。

私は、友人・仲間、市民の皆さんのこうした強い思いを胸に、3代16年に
わたって続いてきた市役所出身市長による市政を終わらせ、民間の知恵
と人材力による函館市政の刷新に挑戦することを決意しました。

私には、銀行などの民間企業勤務、上場企業執行役員、全国青年会議所
活動、伊達市議会議員、国会議員・大臣公設秘書などの経験があります。

このような人生を歩む中でいただいた知恵と人脈を生かして、市政の
先頭に立ち、民間のスピード感をもって、市民の皆さんと函館の再生を
図りたいと強く願っています。

民間市長にバトンタッチ!

—企業誘致、観光振興、国際教育そして福祉振興は私におまかせください—

広田ともあきの役割

私は高校を卒業して函館を離れ35年たちました。そのため函館のことを
何でも知っているというわけにはいきませんが、その代わり、函館の外で
得られた様々な経験・知識や人脈があります。大臣の公設秘書としての
経験と政治手腕は、必ず函館のためにお役に立てると確信しております。
私は「俺がやってやる」型の偉い市長さんにはなりません。函館のまちに
必要なこと、大事な政策は、市民の皆さんの声に謙虚に耳を傾けて、
一緒につくって参ります。

すべての市民が「函館市株式会社の株主」であり、市長は社長として、
株主に責任を負わなければならないのです。

広田ともあきのプロフィール

1961年4月 伊達市に生まれる
父親の転勤(北海道開発庁勤務、現在函館市在住)により、小学4年の
ときに函館市に転入。日吉ヶ丘小学校、湯川中学校、函館中部高校を卒業。
その後、慶應義塾大学商学部に進み、富士銀行、アルデプロ、秋元国際
奨学財団に勤務。その間、横浜JCおよび伊達JCに所属(日本JCにも出向)。
また、伊達市議会議員選挙に当選、1期つとめる。
2010年より、衆議院議員細野豪志氏(その後、環境大臣および原発事故
収束担当大臣に就任)の公設秘書。
【家族】妻、長男(大学1年)、長女(高校1年)
【趣味】合唱(高校・大学で合唱部に所属)、洋菓子づくり、麻雀
【政治目標】「正直者が馬鹿を見ない社会の実現」

広田ともあきの考える大間原発問題

東日本大震災により福島原発事故が発生し、すぐに東電本社2階に災害対策本部が設置
されたとき、私は当時首相補佐官だった細野豪志氏とともに対策本部に詰めて、大画面の
テレビモニターで故吉田所長が事故現場を指揮する緊迫した場面を目の当たりにしました。
メルトダウンという最悪の危機に直面しこのままでは日本は破滅するかもしれないと
思われた大惨事に直接関わったことのある私は誰よりも、大間原発の建設に反対します。

国と地方の行政上の争いは、いかに難しい問題であっても、基本的には、行政あるいは
政治の場で解決していくべきものです。自治体が国を訴えるということは極めて異例の事態で
あり、しかも、地裁・高裁・最高裁と積み上げていくには、10年も20年もかかるというのが訴訟の
実態です。最悪の場合、その間に、大間原発が稼働してしまうということも危惧されます。

また、この間、函館市が国を訴えている以上、大間原発反対の要請に行っても、係争中の
事項として受け付けてもらえないでしょうし、当然、地域振興策や国による新規事業の着手、
その他、ほとんどの懸案事項や課題の解決において国とコミュニケーションがとれない
状態が続くことになってしまいます。

さらに、裁判官は大間原発の建設は是非かで判決を出します。原告が誰であるかは
問題とはなりません。つまり、大間原発訴訟の原告が個人であっても、市民団体であっても、
函館市であっても、判決には全く影響を及ぼしません。函館市が裁判を起したら、判決が
有利になるというのは全くの幻想なのです。

私は、自治体と国の訴訟という異例の事態が長期に続くことなどの問題を考慮すると
議会と相談しながら訴訟の取り下げを検討するとともに、全国の前発30キロ圏内の自治体、
全国知事会・全国市長会等と連携・協力して、強く国に制度要求し、国のエネルギー政策を
転換させる中で、大間原発の中止を必ず実現してまいります。

これは、私自身の人生を賭ける闘いでもあります。

政府も、このたびの函館市長選挙に注目しています
市民の皆様は、大間原発問題を訴訟で解決したいのか、それとも話し合いで解決したいのかを



ひろ た ともあき

無所属 54歳

さあ行こう！ 投票は明るい未来の道しるべ

投票日 4月26日(日)

午前7時から午後8時まで

投票日に仕事や旅行などの予定がある方は、

期日前投票をご利用ください。

場 所・市役所 1 階市民ホール ・湯川支所
・亀田支所 ・戸井支所 ・恵山支所
・榎法華総合センター ・南茅部支所
・ポールスターショッピングセンター※
・昭和タウンプラザ ベスト電器前※

時 間 午前 8 時 3 0 分 (※10時) ～午後 8 時
期 間 4 月 2 5 日(土)まで



選挙のお知らせ

○ 投票できる方

次の年齢および住所を満たし、かつ選挙権を有する方

- ・ **年齢**…平成7年4月27日までに生まれた方
- ・ **住所**…平成27年1月18日までに函館市に住民登録をして、投票する日まで引き続いて住所がある方

○ 転入・転出した方の選挙権

- ▽ 1月19日以降に転入届出された方、投票する日までに函館市外へ転出された方は、投票できません。

○ 投票所入場券

- ▽ 投票所入場券は、4月18日までに郵送しています。
- ▽ 世帯主あてに、圧着はがきで郵送しています。はがきの中には世帯の4人までが連記されているので、ていねいにはがしてからハサミなどで切り離してご持参ください。
- ▽ 投票所入場券が届いた方でも、投票日までに市外へ転出された方は投票することができません。

○ 市内で転居した方の投票所

- ▽ 4月7日までに転居の届出をされた方は、新しい住所地の投票所です。
- ▽ 4月8日以後に転居の届出をされた方は、前の住所地の投票所です。

(※投票所入場券に記載されている投票所をご確認ください。)

○ 投票所までの介助支援

- ▽ 介護保険や障害福祉サービスなどによる外出介助を受けている方で、投票所まで一人で移動することが難しい方は、ヘルパーが付き添うことができる場合があります。
- ▽ 詳しくは障がい保健福祉課（電話 21-3302）、介護保険課（電話 21-3023）にお問い合わせください。

○ 期日前投票について

場 所 / 市役所1階市民ホール、湯川支所、亀田支所、戸井支所、恵山支所、
 榎法華総合センター、南茅部支所 ※ポールスターショッピングセンター
 ※昭和タウンプラザ ベスト電器前

期 間 / 4月25日（土）まで

時 間 / 午前8時30分～午後8時

(※は午前10時から)

